

教育分野

【背景】

（学校教育関連）

- グローバル化やA I等の技術革新の急速な進展、個人の価値観やライフスタイルの多様化など、社会情勢が急激に変化する現代において、教育による人づくりがますます重要となる中、子どもを取り巻く教育環境は大きく変化し、それに伴う教育課題も山積している。
- 本市は、これまでも、国の教育改革の趣旨を踏まえながら、学校教育の進むべき方向性を明確にし、学校、家庭、地域が連携して、次代を担う子どもの夢や希望を育む取組を展開（※1）してきた。

（生涯学習関連）

- 生涯にわたって、国民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送るためには、あらゆる機会、あらゆる場所において学ぶことができる環境が求められている。
- 本市は、高等教育機関や、生涯学習関連施設が多数ある（※2）。これらを中心に、リカレント教育や産官学が連携する機会などを創出することにより、學術の振興はもとより、地域社会の持続的な成長にとって重要な役割を担うことが期待される。

（文化財関連）

- 本市には、地域に伝わる文化財や史跡、伝統行事など、多彩な歴史文化遺産が多く残されており（※3）、それらを適切に保存・継承していく必要がある。
- とりわけ、本市のシンボルでもある世界文化遺産・姫路城は、世界に誇る人類の貴重な宝であり、周辺環境を含め、その歴史的・文化的価値を未来に引き継いでいくことは、本市に課せられた重要な責務である。



【分野目標】～生き抜く力の育成と歴史文化の継承～

ふるさと姫路の未来をひらく、心豊かでたくましく生き抜く力を身に付けた子どもを育て、人生100年時代を豊かに生きる生涯学習社会を実現するとともに、先人から受け継いだ歴史文化を未来へ着実に引き継ぐことを目指す。

※1 「将来の夢や目標を持っていますか。」に対する肯定的回答

区分	対象	%
小学校 6年生	市	87.3
	国	85.1
中学校 3年生	市	72.4
	国	72.4

（資料）文部科学省「平成30年度全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙より

（注）※小学校6年生には義務教育学校6年生を、中学校3年生には義務教育学校9年生を含む。

※2 市立生涯学習関連施設の利用者数など（平成30年度）（単位：人）

施設名	人数	施設名	人数
生涯学習大学校	2,171	書写の里・美術工芸館	41,822
好古学園大学校	696	水族館	198,228
公民館	1,002,628	埋蔵文化財センター	16,641
図書館	752,165	青少年センター	53,278
美術館	45,445	野外活動センター	22,362
姫路科学館	246,905	青少年キャンプ場	2,815
姫路文学館	95,077		

（資料）姫路市 新総合計画推進室作成

（注）生涯学習大学校は在籍者数。好古学園大学校は卒業生数。

公民館は利用者総数。図書館は貸出人数。

姫路科学館、水族館、埋蔵文化財センターは入館者数。

美術館は観覧者他総数（平成30年8月1日～平成31年2月25日まで改修のため休館、休館中はイーグレひめじ市民ギャラリー特別展示室を使用）

姫路文学館は入館者数と施設利用者数。

書写の里・美術工芸館は観覧者総数。

青少年センター、野外活動センター、青少年キャンプ場は利用者数。

※3 姫路市における指定文化財の状況（令和元年5月現在）

指定区分	有形文化財 （登録文化財）	民俗文化財 （選択）	記念物 （登録文化財）	文化財の保存技術 （選定）	計
国	40件 (62件)	1件 (1件)	6件 (1件)	(1件)	112件
県	47件	10件	13件	—	70件
市	89件	20件	28件	—	137件
合計	238件	32件	48件	1件	319件

（資料）姫路市 文化財課作成